

番号	項目	計画における基本的考え方	3ヶ年の具体的取組内容			備考
			平成14年度(実績)	平成15年度(実績見込)	平成16年度	
4 公の施設の改革						
97	施設の抜本的なあり方検討	・府民ニーズの変化や費用対効果、市町村との役割分担や民間施設の整備状況などの観点から、府として施設保有する必要性等を検討し、廃止を含めあり方を抜本的に見直す。	公の施設改革プログラム(案)(13年度策定)			は「さらなる取組」として取り組むもの 前倒し・早期具体化等 老人総合センターの効率的な施設運営を図る観点からの経費節減
			施設のあり方見直し			
			・緑化センターの廃止(13年度末)	・総合青少年野外活動センターの閑散期閉鎖(1~2月)及び施設規模の縮小 ・老人総合センターの運営の効率化 平成15年度完了	青少年海洋センターの閑散期閉鎖(1~2月)	
98	施設の効率的・効果的運営	・民間活力を最大限に活用した運営の効率化や、受益者負担の適正化を図る。また、一層開かれた施設運営を目指し、NPO・ボランティアとの協働を推進する。	運営効率の向上を図るとともに、より魅力ある施設とするため、民間事業者のノウハウを活用			は「さらなる取組」として取り組むもの
			・青少年海洋センターファミリー棟(14年度当初)	里山の自然学校「紀泉わいわい村」(15年度当初)	体育会館(16年度当初) ・羽衣青少年センター ・府民牧場(一部事業)	
			一層開かれた施設運営をめざし、NPO・ボランティアなど府民との協働			
			・現代美術センター(ボランティア活用事業の実施) ・女性総合センター(NPOとの協働事業の実施) ・花の文化園(ボランティアの参画)			

番号	項目	計画における基本的考え方	3ヶ年の具体的取組内容			備考
			平成14年度(実績)	平成15年度(実績見込)	平成16年度	
99	施設のあり方・数値目標の公表	<p>・平成11年度に施設ごとの目標数値を設定し、運営改善を進めている。さらに、今年度内にすべての施設について、そのあり方や当面3カ年の施設ごとの費用節減・利用拡大などの達成すべき数値目標を具体的に定めた「改革プログラム」をとりまとめ、公表する。</p> <p>・府の出資法人が管理運営する施設については、法人改革と併せ取組をすすめる。</p>	<p>収支改善目標 公の施設(28施設)全体で、府からの一般財源支出(13年度 約40億円)を概ね20%削減</p> <p>14年度当初予算削減額 (13年度当初予算比) 3億円(一部重複)</p>	<p>15年度当初予算削減額 (13年度当初予算比) 5億円(一部重複)</p>	<p>16年度当初予算削減予定額 (13年度当初予算比) 8億円(一部重複)</p>	<p>は「さらなる取組」として取り組むもの</p> <p>前倒し・早期具体化等 門真スポーツセンター、漕艇センターにおける職員の非常勤化等</p>
<p>収支以外の改善目標(集客の工夫・収益部門の強化、管理運営体制のスリム化など)</p>			<p>国際児童文学館(任期付専門員の任用)</p> <p>・門真スポーツセンター、漕艇センター(職員の非常勤化等の前倒し実施)</p> <p>平成14年度完了</p>	<p>国際児童文学館(任期付専門員の任用)</p>		
<p>料金体系の見直し(年齢区分の見直し、利用実態等に応じた料金区分の見直しなど順次実施)</p>			<p>・総合青少年野外活動センター ・青少年海洋センター ・青少年会館 ・羽衣青少年センター ・弥生文化博物館 ・近つ飛鳥博物館</p>	<p>上方演芸資料館 ・少年自然の家</p>		